

北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第6号

平成21年(2009年)9月発行



北斎と音楽

葛飾北斎は、優れた観察眼の持ち主であり、観察した結果を的確に表現する筆力をも併せ持った人でした。したがって、他の絵師たちが見落としてしまいがちなものをよく描きとめています。

その一つが楽器です。浮世絵には、お座敷での宴会や歌舞伎、お祭りの様子を描いたものが多く、さまざまに楽器が登場しますが、それが正確に描写されているものや、珍しい楽器まで描かれている作品もなると、そう多くはありません。

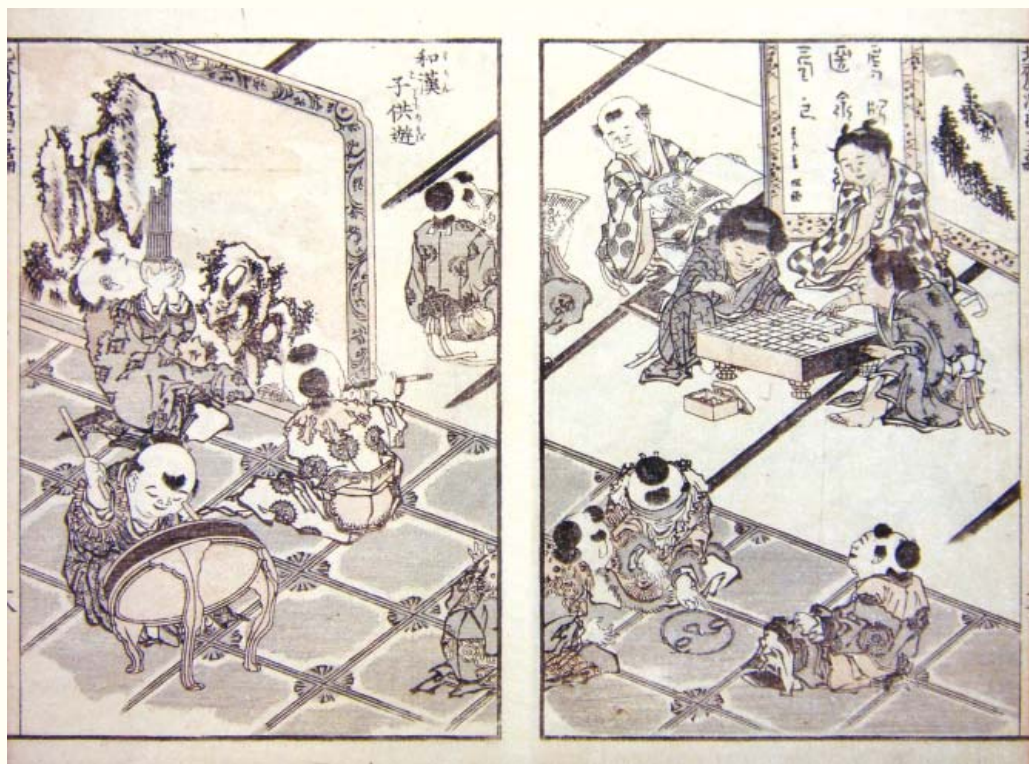
そうした中で北斎は、実にさまざまな楽器を描いており、その正確さは、音楽学の専門家からも厚い信頼を寄せられています。

その代表的な作品である『北斎漫画』は、北斎が五十三歳のときから下絵を描き始め、九十歳で没するまで三十八年の間に描かれた、三九〇〇余りの絵を納めた絵手本です。その中には、三味線や尺八といった一般的なものから、七絃琴や木琴といった珍しいものまで、多くの楽器が登場します。

ここに紹介する『北斎漫画』十五編の中の「和漢子供遊」は、東洋の伝統的な絵のテーマである「琴棋書画」をあらわしているものです。

奥にいる日本の子どもたちは「琴棋書画」の「棋」に「書」にあたる将棋と読書を、また、手前にいる中国の子どもたちは「琴」「画」にあたる楽器の演奏と福笑いのような遊びを楽しんでいます。

ここに描かれている楽器は、笙、太鼓、横笛ですが、笙と太鼓などは中国風の形をしています。子どもたちの奏でる音色が伝わってくるようです。



『北斎漫画』十五編「和漢子供遊」

【発行】
墨田区区民活動推進部
文化振興課
北斎美術館開設担当
☎03-5608-6115

【編集協力】
(財) 墨田区文化振興財団
北斎担当

すみだ

すみだ

邦楽演奏会「北斎の音楽を聴くⅠ」

北斎が活躍した時代の音楽を紹介する邦楽演奏会を開催します。江戸の賑わいと粋を存分にお楽しみいただける内容ですので、ぜひお越しください。

【企画監修】

茂手木潔子（有明教育芸術短期大学教授・日本音楽研究）

【チケット料金】

二〇〇〇円（六十五歳以上及び学生は一五〇〇円）

※全席自由 ※現金払いのみ

【チケット販売場所】

①すみだトリフォニーホール
チケットセンター

（墨田区錦糸一丁目2番3号）

△03-5608-1212

「午前十時～午後七時」

②墨田区文化振興課北斎美術館

開設担当

（墨田区吾妻橋一丁目23番

20号墨田区役所庁舎一階）

「平日の午前八時三十分～

午後五時・窓口販売のみ」

【問い合わせ】

墨田区区民活動推進部

文化振興課北斎美術館開設担当

△03-5608-6115



摺物「座敷舞踏」(38.2×53.0cm)より部分

「すみだ北斎美術館」のシンボルロゴ&マーク募集中

現在、「すみだ北斎美術館」のシンボルロゴ&マークのデザイン案を募集しています。

応募締め切りは、平成二十一年十月二十三日（金）必着です。

詳細は、区公式ウェブサイト

(<http://www.city.sumida.lg.jp>)

をご覧ください。墨田区文化振興課北斎美術館開設担当までお問い合わせください。

まちかど発表会を開催

「すみだ北斎美術館」についての理解を深めていただくために、十月二十五日（日）午前十時～午後四時、建設地である緑町公園（亀沢二丁目7番）で、パネル展示による計画概要の説明を行います。

北斎祭り二〇〇九を開催

「北斎祭り二〇〇九」（北斎通りまちづくりの会主催）が、九月二十六日（土）～十月四日（日）、区内の北斎通り周辺（亀沢一～四丁目）で開催されます。

【開催日時】

平成二十一年十一月十四日（土）

午後四時開演

（午後三時三十分開場）

【会場】

すみだトリフォニーホール

小ホール

（墨田区錦糸一丁目2番3号）

【演目（予定）】

・木遣唄／山口政五郎ほか

・落語「祇園祭」／春風亭正朝

・地歌箏曲「新ざらし」／吉原佐

知子（箏）・木村陽子（三味線）

・清元「申酉」／清元一太夫（浄

瑠璃）・清元栄吉（三味線）ほか

・歌舞伎囃子／望月太左久（菊音

会）ほか

《進行》春風亭正朝